

危急現代世界対応の究極スキル(論理-力学, 神学).

2017/1/6

世襲超資本&貴族とその手下 **globalists 支配世界**は一言で言えば**騙し世界**、その最後は**破綻!!**.
之を向かえ打つには学校では教えない**真実立脚**のスキル(論理と力学観)が必須。唯一核心は**嘘を見破り**真に交代するには如何したらばどうなる？(原因→結果(論理)の時間発展(力学)).

[1] : 777true.net の参考ペ-ジの大幅補足.

既成支配の学校&マスコミに騙されない、簡明且つ強力な理論武装を提供しようと思う。

I : 数学入門.

<http://www.777true.net/intro-math.pdf>

読者に問題を解く事の要求はなし？、必要な数式の意味解釈が出来ることを要求します！。

学校数学は計算問題に集中するが本講座では現場対応の意味概念と解釈を重視する。

①論理(条件法と因果律、無矛盾性、完全性定理、不完全性定理)、

自明な事だが言語機能は共同社会参加員間の意思疎通。だが真と偽では事態は逆さまになる。

建設的意思共有での言語は論理構造を持つ、了解可能は論理的で、論理的ならば了解可能。

科学根源は「AならばBである」の断定文(命題)が真か偽かの判定に始まるだろう、**実現**こそは真に他ならない。**物質世界究極特徴**は「AならばBである」と「AならばBでない」が同時に実現しない**無矛盾性**にある。だから片方は必ず真(実現)になる。それは原因→結果の一对一对応=**因果律**なる時が多い。物質世界本質が無矛盾性にあり、それは自然に因果法則(数学化)に相当する事を証明。結果が唯一 B に決定が因果律(完全性定理)、結果が偶然多岐実現 [B1, B2, B3, ..., BN] が**確率統計論**(不完全性定理)。

(1) **真** = 真偽判定文**命題の実現** <物理的に見える(観測可能)事象! >

②矛盾:

実現こそは真に他ならない。物質世界究極特徴は「AならばBである」と「AならばBでない」が同時に実現しない**無矛盾性**にある。だから片方は必ず**実現(真)**になる。

(1)商人「この矛は如何なる楯も破るよ」、「この楯は如何なる矛にも破れない」。

客人「その矛でその楯を突いたならばどうなる？」⇒ 商人「……」。

注:客人は商人前言「矛は楯を破る」と後言「矛は楯を破れない」の肯定否定の両命題の**同時実現(≡矛盾命題)**と言う**実現不可能性**を要求。なほ B の否定命題 $\neg B$ と書く。

矛盾命題 A $\begin{cases} \nearrow \neg B = \text{真} \\ \searrow B = \text{真} \end{cases}$ \updownarrow (同時に真)



—矛盾崩壊定理—
矛盾が一度実現すると何でも**真(実現, かつ非実現)**になり、**無法則世界**になる事が証明可

一般に物質世界では肯定命題とその否定命題がWイメージで同時**実現観測**される事はない。**それ故に物質世界は無矛盾となる**。無矛盾性こそは科学基礎で重大。

☞: 物質世界の逆=真空世界では**真空偏極反応**と言う矛盾実現が起こり重大化する！。(意思決定の論理[2]④を参照)。

(2)矛盾の重大結論：**嘘騙し(コスト無用=泥棒の始まり!)**=矛盾であり、

将来に何らかの破綻要因に絡ると言う視点が決定的!!。

嘘, 事実無視, 不正, 誤算誤解誤診, 故障等は全て矛盾(真を差し置いて偽を真と偽る, 誤る)。

真だけが望ましい**秩序維持可能=実現**であり、偽はいずれは**非実現=秩序破綻**に向う!!!

実例 1) 秋丸機関対米敗戦予測無視(天皇の敗戦よりも革命が恐ろしい)→原爆2発敗戦出費!!

実例 2) 気候変動無視隠蔽(対処には世界革命の費用)→地上生命破綻と言うより大きい出費!!

☞: **矛盾崩壊定理**は付録1参照!!

注意; 以下ゲーデル完全性, 不完全性定理は**公理体系**での証明だが、公理体系典型は数学、だが物質科学基礎の物理学も公理体系化できるので、そこから派生する化学-生物学-地球**科学&工学一般**もこの延長上に載る、我々主眼は**政策効果(生活経済等)/価格**で最適化の政治工学であり、力学的最適解があると仮定できれば、**科学になるだろう**。

以下定理ではその**趣旨精神**だけを引用で詳細な数理議論はしません。

*生活経済等では各民族文化伝統もあり、**価値観**が一意という事は出来ない問題がある。だが例えば気候変動世界対処等となれば、**共通価値観**を協議の上で一意政治決定せねばなるまい。我々は生存に必要な限度な世界政策では**共通価値観一意政治決定**は不可避。

*宗教予言, 最後の審判を文字通り人類破滅を認識する極右宗派(既成体制?)もあるが、之は懺悔失敗の上での話で、捻じ曲がった解釈だ<聖書 90%内容は懺悔改心の勧め>。

(3)**完全性定理**<日常語で翻訳すれば**“真なる命題は証明可能!”**>。

{原因→結果}が一意確定する**因果律**(一対一対応)**決定論**に相当する。

科学基本がここにあり、且つ組織意識統一で決定的理由になる場合が多い(高確率)。

☞: 統計科学の命題それ自身は一意決定論命題に注意!

(4)**不完全性定理**<ある**前提原因**の下で**結果**が一意確定しない**命題**が存在>

{原因→結果}が一意確定しない場合に相当、上記(3)の背反事象だから存在が必然。

実態的には**不確定要因=情報不足**に起因する確率統計現象になる。

☞: 商売, 政治, 技術開発現場等での**意思決定**では判断材料が不完全が常識、

(完全さを追求すると時間コストのリスクが増大する場合が多い)

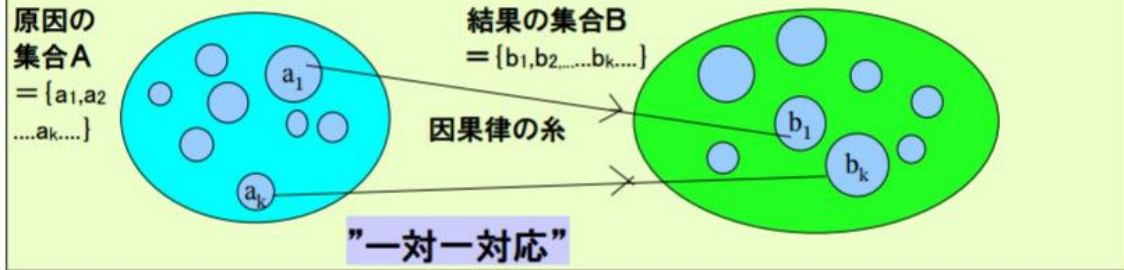
この場合は失敗リスクを睨み高確率判断に賭ける事になる<決断とリスク受任>!!!、

②集合と一対対応(因果律、代数、関数、演算子)、

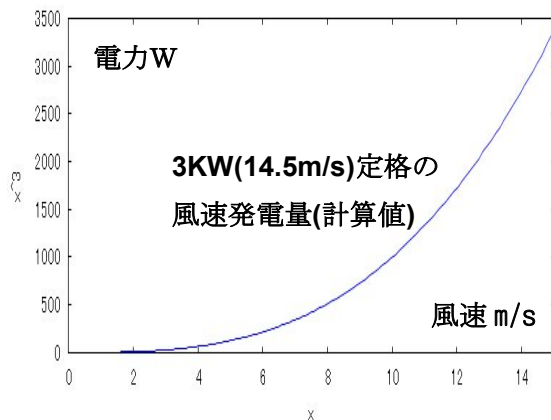
数学本質を一言すれば集合要素間の一対対応の構造(原因→結果の因果律)を極める事にある。

②集合と一対対応(因果律、関数、演算子、代数):

我々の日常問題とは「どうしたならば(原因)、どうなる(結果)」に集約する。これは原因結果の一対対応≡因果律が基本前提としてある。また「どうする?どうなる?」とは複数の何らかの要素対象を規定する。一定の性質を備える要素全てを数え上げる事(想定範囲)を集合と言う。



実例 3) 風力発電量(毎秒) $u = \text{性能係数 } C \times \text{風速 } V \text{ の } 3 \text{ 乗. } C V^3 = u.$



u は V の関数: $u = f(V)$ 、 V を一個指定すればそれに従い一個の u が決定。

* 風力常識では稼働率 20% = 600W。
初期投資額は定格で買い、減価償却は稼働率計算だから厳しい投資!!、数が大量に出れば製品価格は下がるのだが、政策が...

実例 4) 風力発電売上 $S = \text{売電単価 } p \times \text{年間発電量 } U. (p, U) \rightarrow S = f(p, U). 2 \text{ 変数関数.}$

	$U = 15000\text{KWh} (1700\text{W})$	$U = 30000\text{KWh} (3400\text{W})$
$p = 55 \text{ 円}/1\text{KWh}$	83 万円	165 万円
$p = 33 \text{ 円}/1\text{KWh}$	50 万円	99 万円
$p = 20 \text{ 円}/1\text{KWh}$	30 万円	60 万円

実例 5) 発電量 $U = \text{発電機性能係数 } C \times \text{風速 } V \text{ の } 3 \text{ 乗} \times \langle \text{実現確率} \times \text{年間時間 } T \text{ (秒)} \rangle.$

風速 V_k	V_1	V_2	V_N
実現確率 p_k	p_1	p_2	p_N
名発電量 u_k	$C p_1 V_1^3$	$C p_2 V_2^3$			$C p_N V_N^3$
年間発電量 U	$T C [p_1 V_1^3 + p_2 V_2^3 + \dots + p_N V_N^3]$				

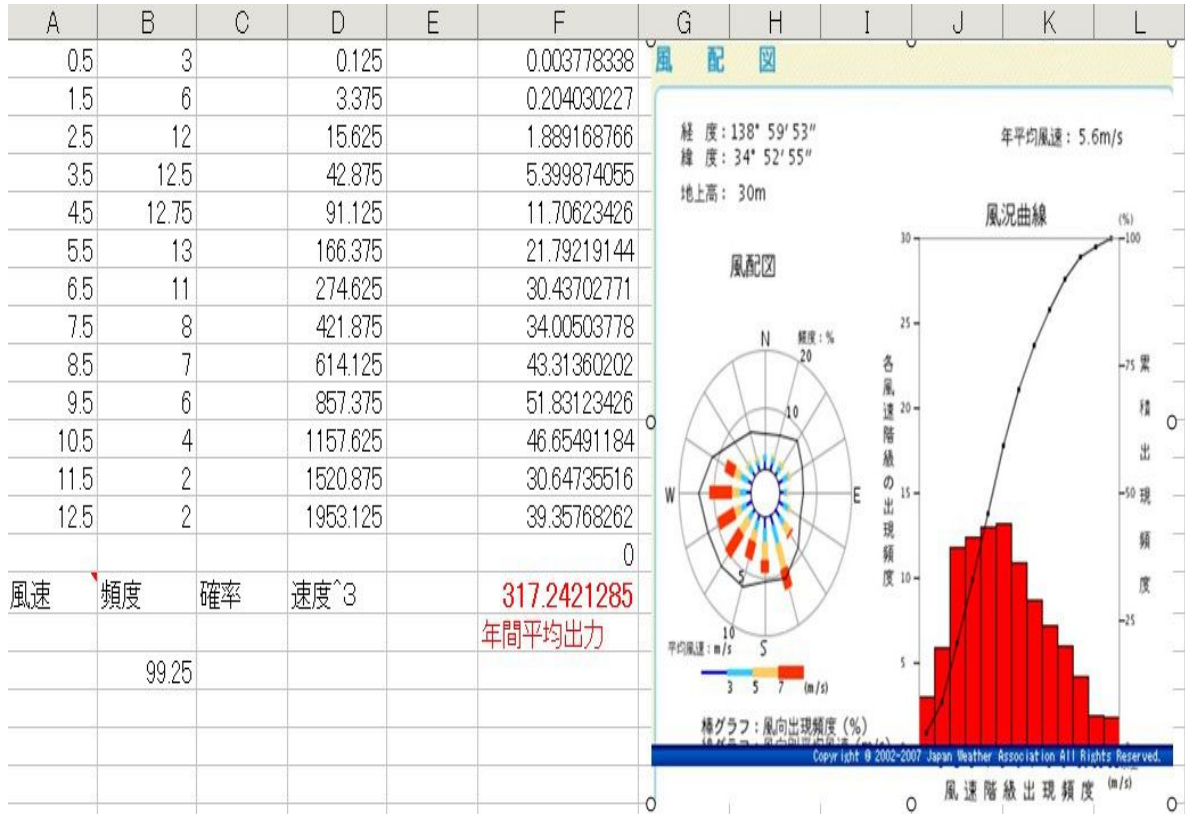
発電売上は売電単価と”風勢”と発電機性能で原理決定する。

年間風勢は地域依存で時間上で確率的(p_k)、強風なれば発電機破壊もある。

実例 6) 3KW(14.5m/s)定格の年間平均風速 5.6m/s 下での年間平均発電量=317W(計算値).

期待稼働率 20%はこの値の倍だから風速 7m/s 以上で無いと投資対象にならない失敗例一つ。

但しマシン性能が上記指定の場合で、より低風速高性能だと事情は一変しますが、



* 1m/s 区分での頻度表値が間違ってるのかもしれませんが、

* 風勢情報サイト

<http://app8.infoc.nedo.go.jp/nedo/webgis#>

II : 力学入門.

<http://www.777true.net/cla-mechanics.pdf>

作用関数(Lagrange 関数) \mathcal{L} が一度定義されると、力学系情報は一定の算術形式で決まる。それは正準形式の古典力学に由来し、量子力学、場の量子論に見事に継承される。

以上は力学専門家対象でいささか難しいが、その趣旨は現実で誰にも非常に重大。

力学観＝未来予測の意味：

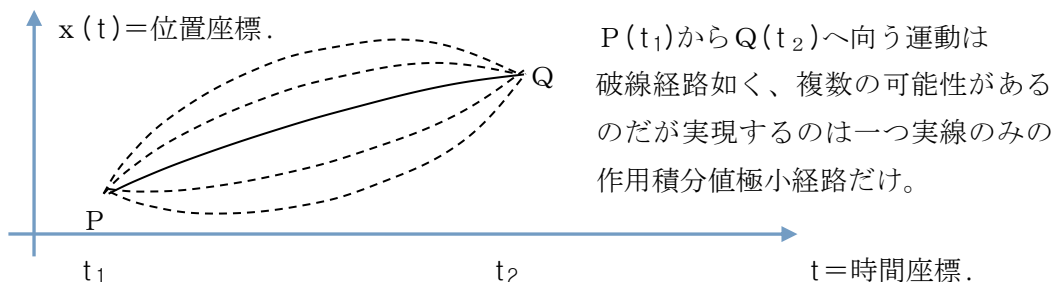
我々は**時間経過**としての歴史上に生きる、そこは原因(力)→結果(変化)の時系列、**未来予測に適応できる原理原則(原因動機)**を見出してこそ力学観の価値がある。

(1)**極小作用の原理と合目的力学観＝世界の動作全てが力学だ！！！！**。

ニュートン**運動方程式**は**力＝質量×加速度**で、原因結果の因果律には間違いないのだが、何か運動は力任せで動く認識になる。他方で作用関数(Lagrange 関数)と運動方程式は数学的に等価が証明可能。すると運動とは作用関数時間積分計算値を**極小**にするのみが実現可能。以下各種力学では**動機(力原因)＝成果最大・損害最小を目指す原理**の力学が実現する。

極小作用の原理と合目的力学観

$$0 = \delta \int_{t_1}^{t_2} dt \mathcal{L}(x(t), x'(t)).$$



(2)消費行動力学。

経済はサイフを持つ需要側に支配権。作用関数はサイフ。消費行動は商品性能を睨んで年間サイフ**出費最小**を目指す訳だから極小作用原理で動作する行動力学になる。

(3)労働運動力学。

所得等の雇用環境最良化(**政治**)を目指す、その為に団結力最大化に尽力するのだが、

<http://www.777true.net/Nothing-Betrays-could-Turn-the-Upside-Down-World.pdf>

(4)商売力学<→経済回路網力学>。

市場開拓で利潤最大値を目指す、市場を睨んで設備投資&雇用等の経費最小を計る、市場縮減では破綻も発生、現代危機を睨んで大規模政策転換が新市場になるだろう、

<http://www.777true.net/Quick-Guide-to-Economy-Network-Dynamics.pdf>

(5)CIA力学。

騙し詐欺脅迫の陰謀技術工学で最小コスト最大支配力(利権利得)獲得を目指す。

隠れて国民と支配階級の**仲間裏切り技術**で卓越を我々は知らねばなるまい。

(6)外交&戦争力学。

国家間の利害関係において自国利益最大化を図る、競争相手との妥協工作も利権実現の為に。競争相手への破壊行為を利権実現の為に(戦争)。

(7)民族解放闘争力学。

ナチス再生米国からの帝国主義侵略支配に抵抗する民族独立解放運動。日本人多数は過酷な搾取体制(700兆円献金?)にあるに関わらず歴史的巨大背景認識に無知。

<http://www.777true.net/slavejapan.pdf>

(8)政党政治力学。

利害関係で一致する集団を形成し、議会多数派獲得工作で己最大利権利得を目指す。競争相手との妥協工作も利権実現の為に。隠れて他党破壊工作もある。

(a)ugry 政治家力学

背後に居る既成支配権力の為に働く事、ばれない制約下で密かに己利益最大化を目指す。

(b)beautiful 政治家力学

面前に居る国民大衆の為に働く使命に密かに喜びを見出す。以下(8)のエリート支配政策に反するので謀略標的になる可能性を国民大衆は認識せねばならない。

(8)世襲権力力学。

最大限、高地位没落回避の為に何でも邪悪事をやる事になる。

世襲米超資本の基礎思想=19世紀封建主義プロイセンのヘーゲル哲学。

***動機=支配者没落恐怖心理="敗戦よりも革命が恐ろしい!"** <戦時皇族首相近衛文麻呂>

(a) **国家国民は優生貴族の搾取対象=国民と天才は君主の手先となる<秘密支配操作主義>**。

*CIA-メディア機能はまさに国家国民を独裁者が操る**ロボコン技術開発**に集約されてる。

ロボコン傾向人=無力他人依存、不正利益思考、強者追随弱者迫害、正義正論を嫌う、

(b) **敵を設定しての永久覇権闘争<軍国主義>**。以上(a)(b)=武力王権支配=反宗教。

*米国は歴史上でも世界突出の軍事大国、常時、敵を創出しての戦時体制国家、

軍事費捻出の為に生産性向上で米人も働き奴隷、雇用医療保険保護が無い例外国、

<http://www.777true.net/Global-People-Must-Search-an-Essential-Evile-Origin.pdf>

<http://www.777true.net/The-Rockefeller-File.pdf>

<http://www.777true.net/The-Upside-Down-World.pdf>

<http://www.777true.net/Oil-and-Military-the-Deathperate-Industry-has-been-causing-the-world-desperate.pdf>

http://www.777true.net/The-Global-Ruling-Structure-2016_How-to-Engineering-toward-Accomplishing-Global-Stability.pdf

(9)宗教力学。高所邪悪精神との闘いで正義真実博愛世界実現の為の**民主化行動力学**。

エペソ 6. 12~16:わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また**高所の邪悪精神(鈴木訂正訳)**に対する戦いである。それだから、悪しき日にあたって、よく抵抗し、完全に勝ち抜いて、堅く立ちうるために、神の武具を身につけなさい。すなわち、立って真理の帯を腰にしめ、正義の胸当てを胸につけ、平和の福音の備えを足にはき、その上に、信仰のたてを手に取りなさい。それをもって、悪しき者の放つ火の矢を消すことができるであろう。

(the gosple of Matthew)5:37 : あなたがたの言葉は、ただ、しかり、しかり、否、否、であるべきだ。それ以上に出ることは、悪から来るのである。

(John.5:3) : 神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることである。そして、その戒めはむずかしいものではない。

墨子;天下は人々が相愛すれば治まり、互いに憎しみあえば乱れる. ...

天意に従う者は義の政治、そむく者は力の政治,

天下に義があれば治まり、義がなければ乱れる.

<http://plaza.rakuten.co.jp/condor33/>

日蓮 ; 自らの幸せを願うならば、まず**社会全体の安穩を祈るべし**。

<http://www.nichiren.or.jp/buddhism/nichiren/>

日蓮大聖人、立正安国論に曰く<善神に背き、悪神を招いてるの非難!!>。

<http://www.houonsha.co.jp/jiyu/19/688.html>

「情ら微管を傾け聊か経文を披きたるに世皆正に背き人悉く悪に帰す、故に善神は国を捨てて相去り聖人は所を辞して還りたまわず、是れを以て魔来り鬼来り災起り難起る言わずんばある可からず恐れずんばある可からず」(立正安国論)

法華経は中国の名僧天台智顛が全仏教經典を精査して択一した經典で、その核心は**始から終まで究極におい全てが等しく同一の者(神)起因するの有神論**。

新訳聖書ヨハネ黙示録第一章, 8 節。

今いまし、昔いまし、やがて来るべき者、全能者にして主なる神が仰せになる、

「私はアルファであり、オメガである」。

コラーン; 全ての民族に神は平等に天啓者を使わす。

宗教力学など冗談半分か。だが自然科学&工学以外の筆頭問題=**人文科学**??!!、
筆者観測経験では、**人間と政治に関わる内容は全て神聖文書予言中にある!!**。

全知全能真空世界=あの世!!からの貴重な救済啓示!、この啓示に従うが最善の結論!。

<http://www.777true.net/Proof-on-God.pdf>

☞:問題選択は筆者意見、結論の論理学や力学、神学啓示で**筆者意見ではない様に尽力!!**、

付録1：論理学要約と矛盾崩壊定理<詳細に関心読者へ>:

真偽判断対象文を命題(主語+述語)と呼ぶ、命題は次の結合子{∧, ∨, ⊃}でも命題を作る、最も重要になるのは原因(前提 if)結果 then の因果(証明)推論に関わる条件法命題(⊃)。

A or B			A and B			If A, then B		
A ∧ B	B=1	B=0	A ∨ B	B=1	B=0	A ⊃ B	B=1	B=0
A=1	1(真)	0	A=1	1	1	A=1	1	0
A=0	0(偽)	0	A=0	1	0	A=0	1	1

*推論の基礎=条件法命題<この部分を各自徹底吟味しないと論理学信頼性が成立しない>。

$A ⊃ B ≡ \neg A \vee B ≡ \neg (A \wedge \neg B)$. 前提A=1で、且つB=0偽に限り命題は偽になる、前提A偽でB=0を偽とする条件法命題を偽とするのはおかしい、同じくB=1を偽とするのもおかしい。

結果、前提偽ならば全て真になる。デタラメ許容すれば、全部デタラメ化する(論理破綻!!).

*証明論)前提A=1(真),かつ推論も恒真: $A ⊃ B ≡ 1$. ならば結論B=1.

$1 ≡ A ⊃ B ≡ \neg A \vee B = 0 \vee B ≡ B ≡ 1. \rightarrow B = A \vee R = 1$.

証明から導かれる結論 $B = A \vee R$ の実態は実は前提Aに余分なRを加算してを言い換えた内容に過ぎない. 証明とは自明の恒真: $1 ≡ A ⊃ (A \vee R)$ 。

付録2：現場観測の重大性！！。

「理論は往々にして空論になる！」と筆者は卒研指導教官に脅された者だ。しかり問題発想こそは切実な生活現場から生成する！、学術論文等では無い??！、以下は筆者例(1)戦後日本支配の米帝国主義、軍産複合体企業経験とその後の流転職歴が教えた。

<http://www.777true.net/slavejapan.pdf>

(2)気候変動科学。一般マスコミ報道皆無で世界ネットから教わったが、

(a)80%CO2削減地球温度擬似計算、専門家が温度回復模擬を提示してない。

(b)気候のマクロ揺動原因、専門家が一番厄介な問題解等を提示してない。

(c)流体力学の長期予測困難原因、専門家が一番厄介な問題解等を提示してない。

(d)世界気候戦争戦時宣言、打ち上げは豪州科学者だが、専門家組織が動かない

Time for Plan B Cutting Carbon Emissions 80% by 2020

<https://www.earth-policy.org/datacenter/pdf/80by2020notes.pdf>

Lester R. Brown, Janet Larsen, Jonathan G. Dorn, and Frances C. Moore

幾らCO2削減(政策者)できるかでなく、幾らやれば破滅回避できるのか！！

(3)地震科学、地震電磁気学予知とHAARP地震兵器原理、生活支障で必須、

(4)経済回路網力学、専門家が一番厄介な問題解等を提示してない。

客観科学性の評価が一考にももらえない、経済学は陰惨科学らしい

(5)電力エネルギー工学、本業が横槍で一向に達成されないで困ってる。

付録3：現代世界政治力学の試論〈動機＝力から探る政治将来経路〉。

以下は動機＝力から探る政治将来経路(力学結果)の筆者試論、諸氏も自分の力学開発を！

http://www.777true.net/The-Global-Ruling-Structure-2016_How-to-Engineering-toward-Accomplishing-Global-Stability.pdf

“前提＝過去の歴史力学経路”。

戦後世界, ソ連崩壊後の世界は米一極支配、その中心は石油帝王 Rockefeller と手下の軍産 CIA メディア複合体(軍事諜報支配), 反ユダヤの米資本支援で成立のナチス再生勢力に由来。アングロサクソンでなく, Rockefeller を筆頭にドイツ系米人。その根源哲学＝動作原理が反神＝病的な(8)世襲権力力学による経済-政治諜報&軍事による世界覇権追求(動機)、軍事諜報＝暴力支配装置が彼ら突出した特長、は非暴力＝正義真実博愛の神学に反する！古代からの西欧伝統王権専制暴力支配思想の延長上にある、だから反宗教民族ユダヤ、

現代世界問題核心は二つ(戦争と気候変動)ある。

9/11 自作テロで先鋭化したイスラエル中東紛争と石油屋大産物＝気候変動危機招来！、

(1)既成権力路線(ナチス再生米勢力(戦争屋)＋NATO＋中東王国＋...)＝最終決戦作戦！！

中東紛争&イスラエルを徹底追い詰めて、米中ロ第三次世界大戦へ？！！

これは同時に Rockefeller 石油屋最大失敗の気候変動世界破滅をもみ消し作戦！、

米国超富豪エリートは地下都市建設で生き残り作戦とか？？

超愚かにも現日本既成権力も彼ら加担の立場にある〈自滅政策で自己保身逆さま政治〉。

現代日本政治は極限の自己保身裏切り政治としても過言でない、

http://www.777true.net/the-convergence-to-genuine_J65-HOW-TO-BECOME-POSITIVE-THINKERS.pdf

(2)米異端児トランプ出現と厭戦プーチンロシアとの最終決戦作戦阻止＝和解戦略！、

既成権力から非難集中トランプ出世は9/11 真相暴露、之で下層白人米人が支持！！、

注意すべきは紐付き米エリート、共和党保守、米民主党系左翼＋非白人勢力が反トランプ、

次大統領は過去経緯としてユダヤ信奉者でもある。イスラエルは過去(1)の協力者だが、

次大統領は共和党筋として明白な間違いの気候変動否定派、だが本心は真相承知！。

彼最大スロガンは偉大な米国の再建！＝近時米国は最大級の間違いにある(真実！)

偉大にならない事はやらないと言う事だ。実業家として過去多数回の破綻経験、

閣僚に破綻再建請負人も、現場軍人も多い。→ 経済&軍事破綻対処体制。

TPP 破棄&世界の警察官も止める→世界主義から自立国内(市場&防衛)への転換。

(3) 上記(2)は(1)大転換路線にあり、両者衝突(経済&軍事)？、あるいは妥協？？

Paul Craig Roberts 指摘では米次期政権行方は我々次第！、多数派形成なれば、....

他方彼は次期大統領暗殺を懸念、負組既成体制マスコミと左派系は次政権阻止で頑固強行、

有力仏次期大統領候補は次期米政権支持、目に見える結果までには多少時間がかかるが、

それも我々次第と言う事になる。